



# 花き類

## (バラ・カーネーション)

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



### ハダニ類の多発に注意しましょう!

#### ナミハダニ



主に葉裏に寄生し、吸汁することで**白い小斑点**が発生。大量発生すると、葉は黄化し、枯死する。また、葉や花にくもの巣が張ったような状態となる。施設では1年中寄生し、特に高温・乾燥条件で増殖が激しく、短期間で高密度となる。低温期でも、暖房機の周辺などで多発。**25℃では約10日で1世代**を繰り返し、1匹当たりの産卵数は100~150個。

冬	春	夏	秋								
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月



写真:キク

写真:カーネーション



多発すると防除が難しいため  
早めの対策がおすすめです!

- ◆ 園場内あるいは園場周辺の雑草が発生源となるので、除草を行う
- ◆ 苗による持ち込みを防ぐ
- ◆ 管理温度が高いと増殖が旺盛となるので、適正な温度管理を行う
- ◆ 同一薬剤の連用は薬剤抵抗性の発達に繋がるので、ローテーション散布を心掛ける

#### バラおすすめ薬剤

本年もどうぞよろしくお願ひいたします!



FRAC	対象害虫	薬剤名	登録作物名	希釈倍数	使用時期	回数
2A	ハダニ類	ペントック水和剤	ばら(施設栽培)	1,000~1,500倍	-	-
6	ハダニ類・アザミウマ類	アグリメック	花き類・観葉植物(ガーベラを除く)	500倍	発生初期	5回
10A	ハダニ類	ニッソラン水和剤	花き類・観葉植物	2,000~3,000倍	-	2回
25B, 21A	ハダニ類	ダブルフェースフロアブル※	花き類・観葉植物	2,000倍	発生初期	1回
33	ハダニ類	ダニオーテフロアブル	花き類・観葉植物	2,000倍	発生初期	2回
NC	ハダニ類	サフォイル乳剤	花き類・観葉植物(きくを除く)	300~500倍	発生初期	-

※ 花き類では花に薬害を生じる場合があるので、花や蕾に薬剤が付着するおそれのある時期には使用を避ける。  
ばらの新展開葉に薬害を生じる場合があるので、新展開葉に薬剤が付着するおそれのある時期には使用を避ける。

#### カーネーションおすすめ薬剤

FRAC	対象害虫	薬剤名	登録作物名	希釈倍数	使用時期	回数
1B	ハダニ類・アザミウマ類	トクチオン乳剤	花き類・観葉植物(ばら、きく、プリムラ、シクラメン、バゴニア、宿根かすみそうを除く)	1,000倍	発生初期	5回
2A	ハダニ類	ペントック水和剤	カーネーション(施設栽培)	1,000~1,500倍	-	-
3A	ハダニ類・アブラムシ類	ロディー乳剤	花き類・観葉植物	1,000倍	-	6回
6	ハダニ類・アザミウマ類	アグリメック	花き類・観葉植物(ガーベラを除く)	500倍	発生初期	5回
10A	ハダニ類	ニッソラン水和剤	花き類・観葉植物	2,000~3,000倍	-	2回
21A	ハダニ類	サンマイトフロアブル	カーネーション	1,000倍	-	2回
25B	ハダニ類	ダニコングフロアブル	花き類・観葉植物	2,000倍	発生初期	1回
33	ハダニ類	ダニオーテフロアブル	花き類・観葉植物	2,000倍	発生初期	2回



温風加温器の  
吹出口付近に置くだけ!  
散布する手間がかかりません

有効成分はシナモンの主成分と同じ  
使用回数制限無し  
ハチや天敵への影響少ない

灰色かび病 30ml/10a/日 花き類・観葉植物登録



#### 殺虫・殺ダニ剤

### 粘着くん液剤

- ☆優れた速効性(散布後10~20分)
- ☆有効成分がデンプンであり安全性が高い
- ☆天敵・有用昆虫への影響が少ない

ハダニ類 100倍 発生初期  
花き類・観葉植物登録

